

乳腺穿刺吸引細胞診における Diff-quick 染色標本の評価について

① 研究課題名

乳腺穿刺吸引細胞診における Diff-quick 染色標本の評価について

② 研究目的

乳腺科では、乳腺腫瘍を認めた際に、ベッドサイドで穿刺吸引細胞診(FNAC)と呼ばれる検査を行うことがあります。その場で標本を作製し、Diff-quick 染色標本を観察し、がん細胞の有無や推定病変について、細胞検査士から臨床医へ報告を行っています。ベッドサイド細胞診の段階で仮診断を伝えることにより、その後の検査・治療方針をより早く進めることに繋がると考え、精度の高い報告を行うことを目標とし、これまでの症例の再検討の結果から、有用となる所見について考察を行います。

③ 利用・または提供する資料・情報の項目

2017年4月～2021年4月に施行されたFNACのうち、細胞診で鑑別困難とされた症例について、細胞診及び組織診断結果と、その細胞像を提示します。

④ 研究方法

Diff-quick 染色標本における乳管上皮細胞の出現様式や細胞異型、背景所見などについて再鏡検を行います。その結果をもとに、良悪の鑑別や推定病変を考える際に有用となる所見について検討を行います。

⑤ 研究期間

2021年5月～2021年12月

⑥ 資料・情報の管理について責任を有する者（研究責任者・研究代表者）

所属：臨床検査科

氏名：河上 衣舞妃

連絡先：独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター
0855-25-0505(代表)

上記研究に賛同されない患者様は上記連絡先までご連絡ください。